

## S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

## 《週報》

第 10 卷第 9 号

第 9 週(3月 1 日 ~ 3月 7 日)

発行年月日: 平成22年(2010年) 3月11日

発 行 : 滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

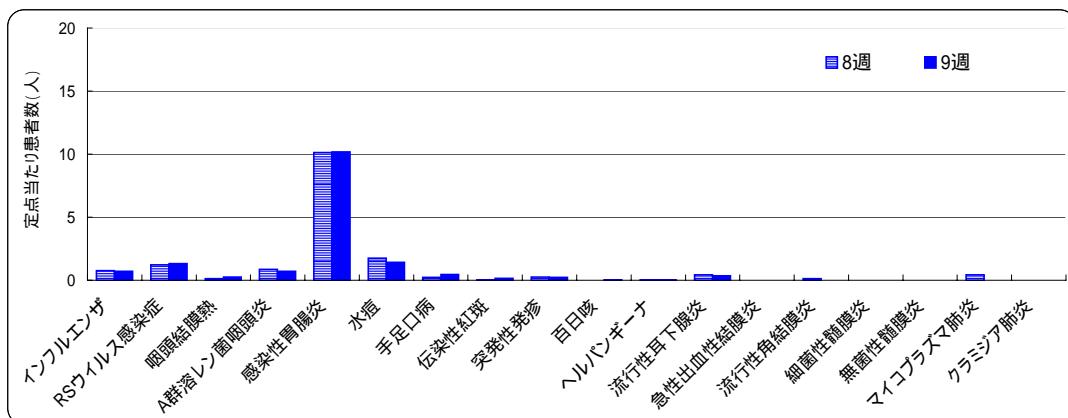
## 今週の感染症発生動向

感染性胃腸炎の発生は、ほぼ横ばい！

## 一類～五類全数報告感染症の発生状況(第 9 週)

- ・一類感染症----報告はありません
- ・二類感染症----**結核 6名**
- ・三類感染症----報告はありません
- ・四類感染症----報告はありません
- ・五類感染症----報告はありません

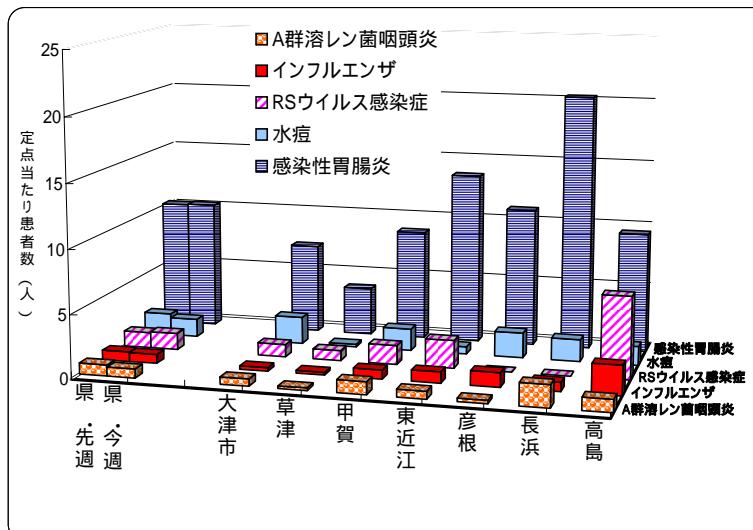
## 定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)



上記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(511名)とほぼ横ばいで、今週は507名となっています。今週増加した疾患は、咽頭結膜熱(ブル熱)、手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)等で、減少した疾患は、インフルエンザ、水痘等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、感染性胃腸炎では、長浜で先週に引き続き、警報終息基準値(定点当たり患者数 12.00)を超えていました。

## 上位疾患の保健所管内別発生状況(平成 22年第9週、H22.3.1 ~



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、RSウイルス感染症、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌感染症の順に多くなっています。

年令群別発生割合は、感染性胃腸炎では、1~5歳が41.1%、6~9歳が26.6%となっています。水痘では、0~14歳で発生し、1歳および3歳でやや多くなり、それぞれ15.9%、13.6%となっています。RSウイルス感染症では、0~5歳で発生し、1歳未満および1歳で多くなり、それぞれ61.0%、14.6%となっています。

## 1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき  
医師は保健所に届出ことになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定  
められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成22年累積報告数		平成21年累積報告数		平成20年累積報告数	
		滋賀(9週)	全国(*1)(8週注)	滋賀	全国(*1)	滋賀	全国(*1)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	46	3,111	256	26,253	282	28,419
三類感染症	コレラ	0	2	1	16	0	45
	細菌性赤痢	0	27	0	179	3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	0	166	27	3,837	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	9	1	54	0	43
	A型肝炎	1	29	0	114	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	0	2	1	2
	デング熱	0	11	0	92	2	104
	マラリア	0	9	0	56	1	56
	レジオネラ症	0	83	8	689	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	3	120	10	769	10	872
	ウイルス性肝炎	0	23	3	212	5	241
	急性脳炎	0	52	8	493	1	190
	クロツツェルト・ヤコブ病	0	18	2	140	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	25	2	103	1	113
	後天性免疫不全症候群	1	185	9	1,417	11	1,568
	ジアルジア症	0	9	0	0	1	75
	梅毒	2	74	3	676	5	839
	破傷風	0	6	3	112	5	123
	風しん	1	11	2	147	2	309
	麻しん	0	68	7	741	39	11,015
	新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1)(*) <sup>(2)</sup>	0	0	138	12,405	-(*)

注:9週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

\*1:全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

\*2:感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間:平成21年7月24日～8月24日)。

\*3:感染症法の一部改正以前のため、集計は行っていません。

## 2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一方所の定点から何人の患者が報告されているかを示したもので(定点当たり患者数=患者報告数/定点数)。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成22年第4～9週、1/25～3/7)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数( 前週より増加 前週と同じ 前週より減少 )									
			4週	5週	6週	7週	8週	9週	週			
			1/25～	2/1～	2/8～	2/15～	2/22～	3/1～	5	6	7	8
インフルエンザ	52	インフルエンザ	4.87	3.46	2.38	1.25	0.77	0.71				
小児科	31	RSウイルス感染症	2.23	2.23	1.87	1.35	1.23	1.32				
		咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.13	0.03	0.19	0.13	0.13	0.26				
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.26	1.13	0.35	0.71	0.87	0.71				
		感染性胃腸炎	9.74	10.84	9.16	9.52	10.13	10.19				
		水痘	1.16	0.77	1.55	1.13	1.74	1.42				
		手足口病	0.16	0.03	0.29	0.16	0.23	0.45				
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.03	0	0.03	0.03	0.16				
		突発性発しん	0.19	0.35	0.32	0.29	0.26	0.23				
		百日咳	0	0.03	0.06	0	0	0.03				
眼科	8	ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0.03	0.03				
基幹	7	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.55	0.16	0.48	0.29	0.42	0.35				
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0				
		流行性角結膜炎	0	0.13	0	0.38	0.13	0				
		細菌性髓膜炎	0	0	0	0.14	0	0				
		無菌性髓膜炎	0	0	0.14	0	0	0				
		マイコプラズマ肺炎	0.57	0	0.29	0	0.43	0				
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0				

各疾患における6週間の発生状況

増加傾向……水痘、手足口病  
減少傾向……インフルエンザ、RSウイルス感染症

## (2) 疾病別・保健所管内別発生状況(第9週、3/1~3/7)

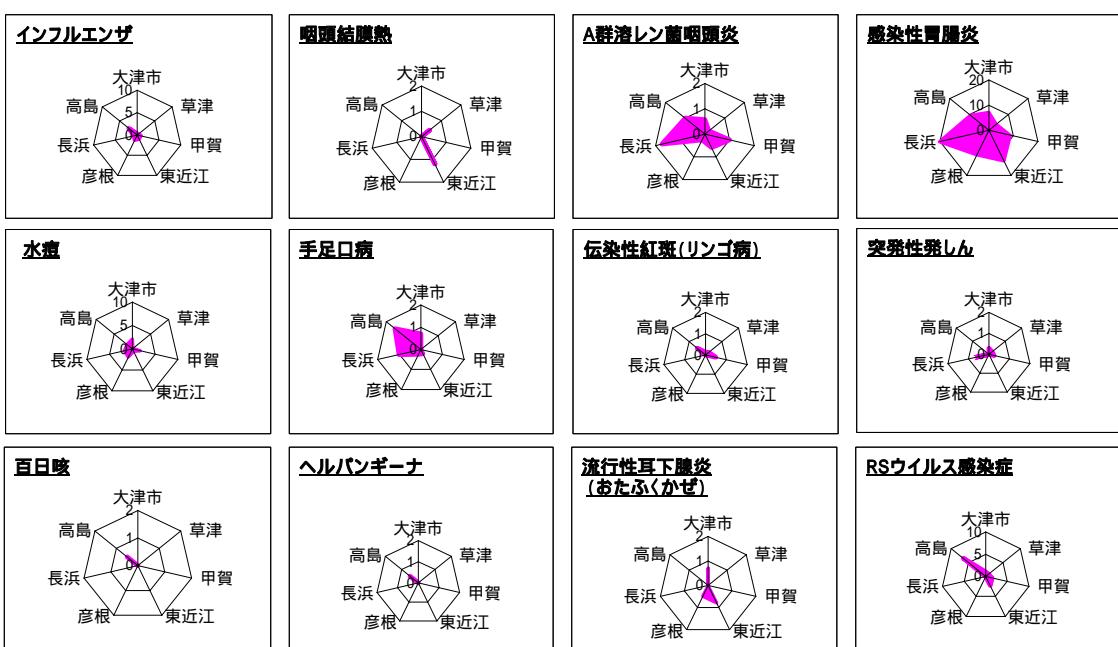
疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							疾患別発生状況 (県全体)	
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.71	0.27	0.22	0.71	0.88	1.14	0.71	2.33	■
RSウイルス感染症	1.32	1.00	0.80	1.50	2.20	0	0	6.50	■
咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.26	0	0.40	0	1.20	0	0	0	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.71	0.57	0.20	1.00	0.60	0.25	1.75	1.00	■
感染性胃腸炎	10.19	7.14	3.80	8.75	13.60	11.00	20.25	9.50	■■■■■
水痘	1.42	2.14	0.20	1.75	0.60	2.00	1.75	1.50	■
手足口病	0.45	0.71	0	0	0.20	0.25	1.00	1.50	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.16	0.14	0.20	0.50	0	0	0	0.50	■
突発性発しん	0.23	0.29	0.20	0.25	0	0	0.75	0	■
百日咳	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50	■
ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50	■
流行性耳下腺炎(あたふくかぜ)	0.35	0.71	0	0	0.80	0.50	0	0	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	■

赤・太字 は警報発生基準値を超えています。

青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

0 5 10 15  
定点当たり患者数

## 疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



## (3) 今週の発生状況

インフルエンザ-----県全体では先週より減少していますが、東近江、長浜および高島では微増となっています。県全体の定点当たり患者数は0.71となり、先週に引き続き、流行のめやすとなる1.00以下となっています。

また、年齢群別発生割合では、6歳、15~19歳、30~39歳でやや多くなり、それぞれ、16.2%、25.0%、16.2%となっています。

RSウイルス感染症-----第6週(2/8~2/14)以降、減少傾向を示していましたが、今週は増加し、東近江および高島からの報告が多くなっています。特に東近江で急増しています。

咽頭結膜熱-----東近江からの報告が多くなっています。

A群溶レン菌咽頭炎---先週多かった大津市では、かなり減少しています。また、年齢群別発生割合では、6歳で全体の27.3%と多くなっています。

感染性胃腸炎-----県全体では、先週とほぼ横ばいですが、東近江、長浜および高島で増加しています。特に、長浜の定点当たり患者数は20.25と多くなっています。

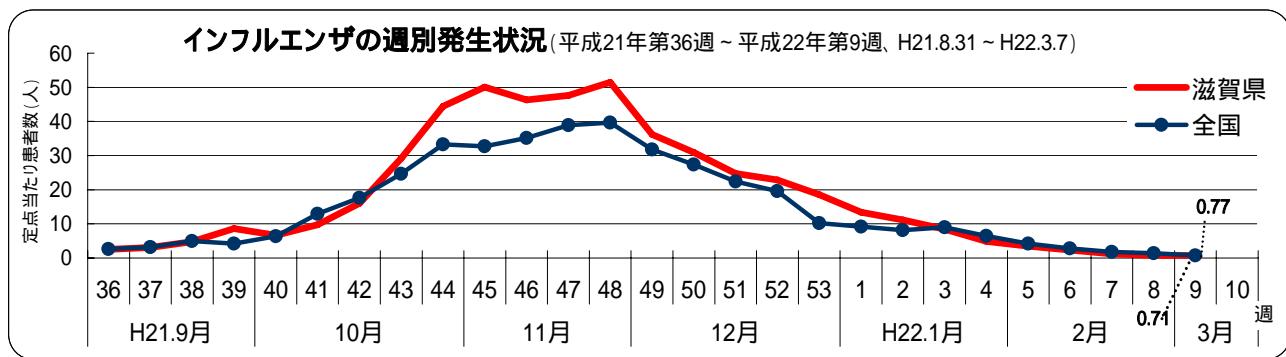
水痘-----大津市で急増しています。また、甲賀の定点当たり患者数は1.75となり、注意報発生基準値未満となっています。

手足口病-----県全体では、先週の倍増となり、大津市および高島で急増しています。また、年齢群別発生割合では、2歳で全体の35.7%と多くなっています。

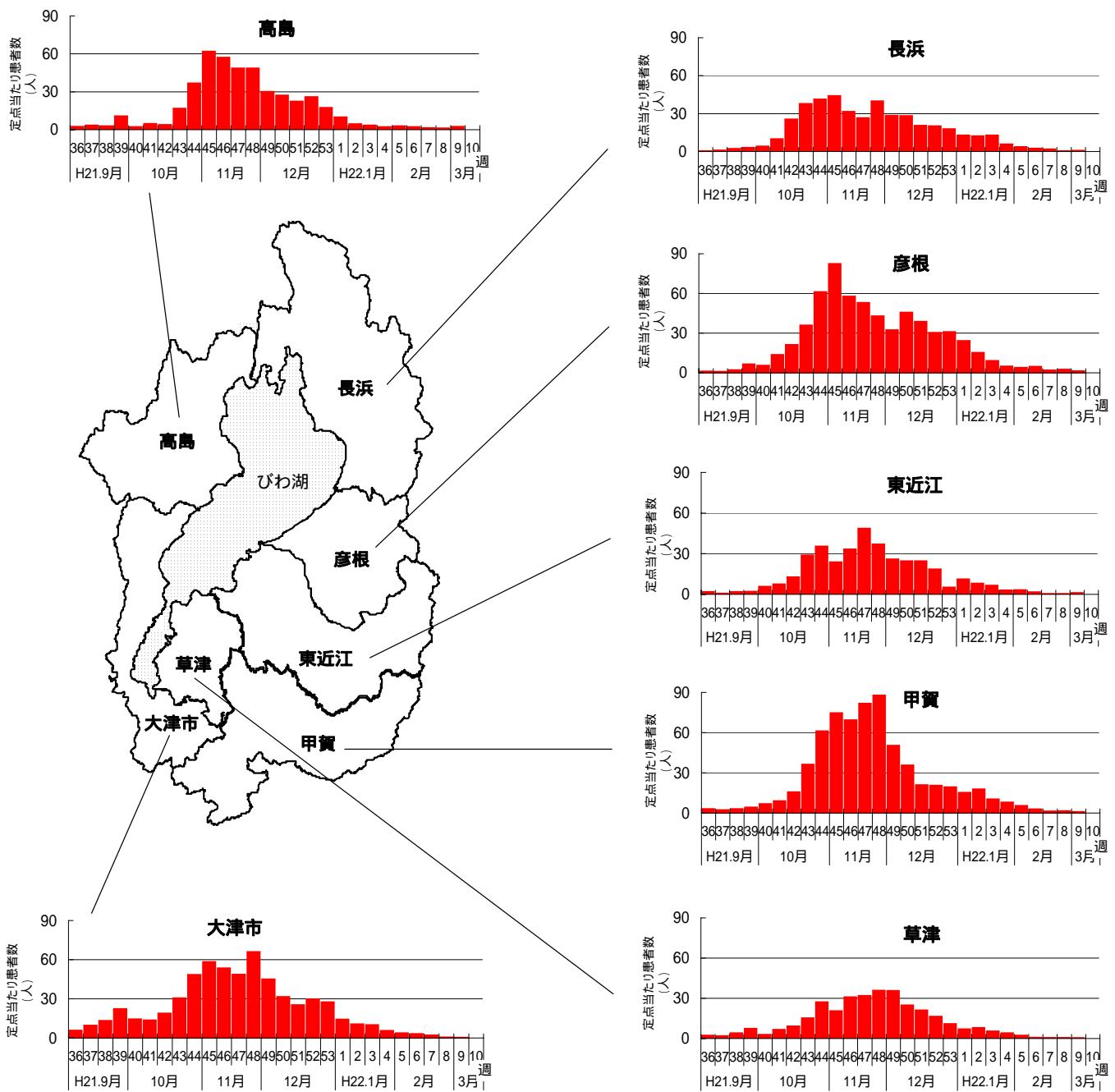
伝染性紅斑-----先週より急増し、昨年同時期と比較するとかなり多くなっています。

## 滋賀県における保健所管内別インフルエンザの発生状況

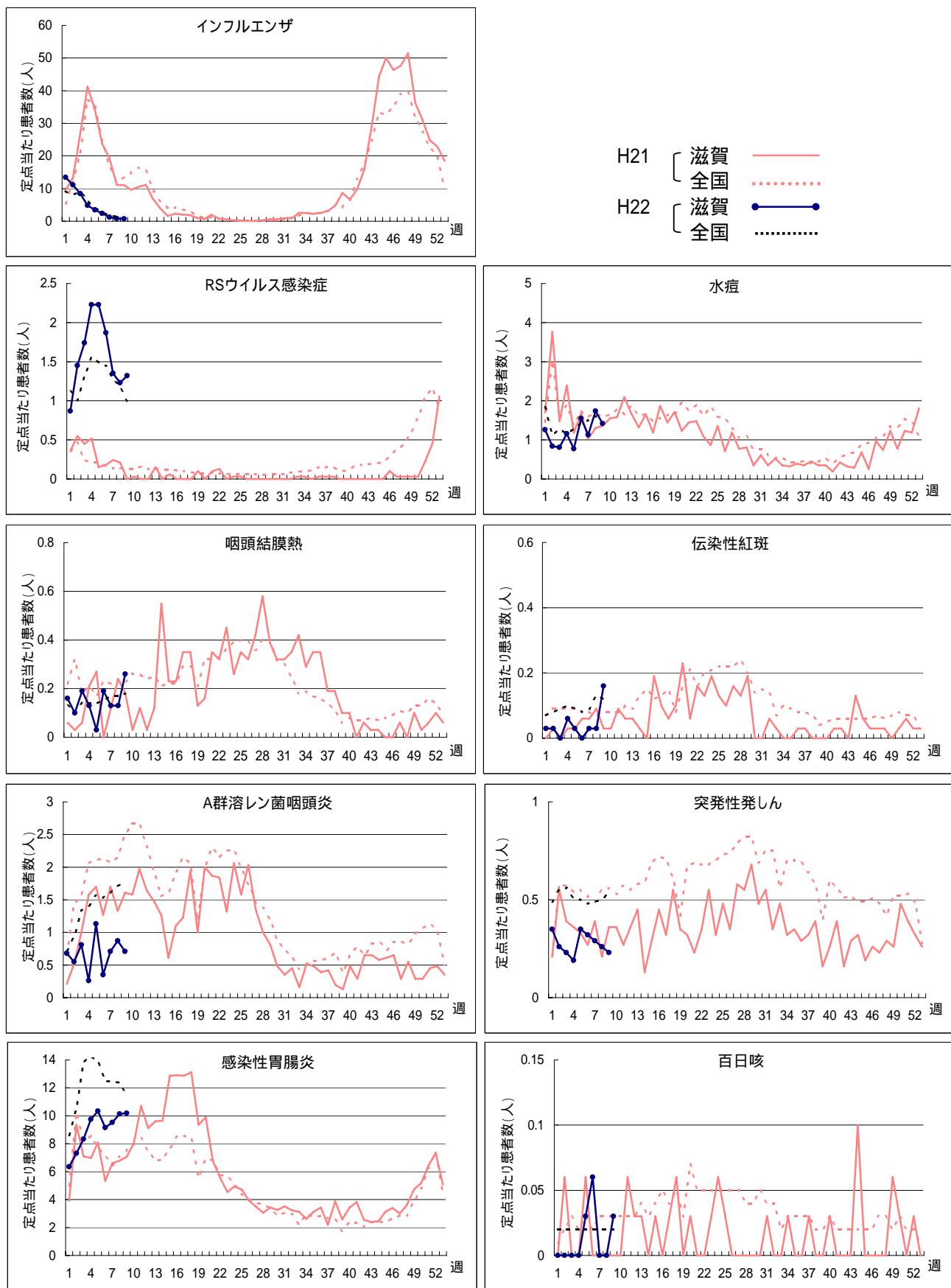
## 滋賀県・週別発生状況



## 保健所管内別・調別発生状況



## 疾病別定点当たり患者数(平成22年第1~9週、H22.1.4~H22.3.7)



[トップページに戻る](#)

## 疾病別定点当たり患者数(平成22年第1～9週、H22.1.4～H22.3.7)

